

# CCU ネットワーク支援センター

## ■ スタッフ（項目見出しスタイル）

部長 伊藤 正明  
副部長 増田 純

医師数 常勤 2名  
併任 0名  
非常勤 0名

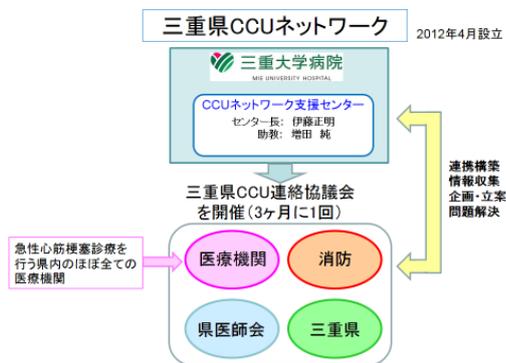
## ■ 部門の特色

三重県における急性心筋梗塞の死亡率は、下図の様に過去 20 年にわたり、男女ともに依然として全国平均より高い状態にあり、早急な改善が急務です。当 CCU ネットワーク支援センターでは、県内の各循環器救急病院・消防・行政などと協力体制をとりながら急性心筋梗塞の予後改善に向けての取り組みを行っております。

### 1. 三重県における急性心筋梗塞死亡率



### 2. 組織体制



約半年に 1 回、県内医療各機関や消防・県医師会・行政とともに三重県 CCU 連絡協議会を開催し、県内の急性心筋梗塞の診療体制についての情報共有、現状把握・問題提議を行っております。

## ■ 事業内容

### 1. 三重 ACS レジストリー

三重県内で発症した心筋梗塞症例の初期診療体制や治療内容・予後などについての情報を県全域で前向きに収集し、傾向や問題点を分析するのに役立ちます。2013 年 1 月より運用を開始し、現在県内 15 施設に参加していただき登録を行っております。H27 年は 644 例の急性冠症候群 (ACS) 症例が登録され、様々な分析・学会活動に用いられました。

### 2. 12 誘導心電図伝送体制の構築・運用

急性心筋梗塞は、発症から再還流療法を受けるまでの時間 (total ischemic time) を最大限短縮させる事が予後の改善に重要で、そのためには①直接カテーテル施設に搬送すること、②病院到着後速やかに再還流療法を行うことが重要です。それには救急車内から 12 誘導心電図を直接医療機関に伝送することが重要であり、津市では救命救急センターと近隣病院の協力を受けながら、病院前心電図伝送システムの運用を行っています。

### 3. 心筋梗塞後リハビリ体制の構築・運用

心筋梗塞から退院した後も、外来でリハビリ療を継続することが、その後の心肺機能や予後の改善に有用とされています。三重大学病院をモデル病院として外来通院リハビリシステムの構築・運用を行っており、その効果についても検証しています。

### 4. 市民公開講座の開催

疾患の理解や、発症後できるだけ速やかな救急要請もしくは医療機関への受診の重要性を啓蒙するために、NPO 法人みえ循環器・腎疾患ネットワークとの共催で、県内各地で市民公開講座を開催しています。H27 年度は下記の地区で行いました。

2015 年 4 月 4 日 松阪市文化会館

2015 年 5 月 17 日 三重大学講堂

2015 年 12 月 13 日 名張市武道交流館いきいき

## ■ 臨床研究などの実績

In-Hospital and One-Year Outcome in Resuscitated Patients after Out-of-Hospital Cardiac Arrest Complicating Acute Myocardial Infarction; Analysis from Mie ACS Registry. Jun Masuda, et al. JCS2015

The Clinical Impact of Chronic Total Occlusion in a Non-culprit Artery on Acute Myocardial Infarction Patients from Mie ACS Registry. Masafumi Kato et al. JCS2015

Importance of Helicopter Transport to Primary PCI Capable Hospital for Patients with Acute Coronary Syndrome (Report from Mie ACS Registry). Masaki Ishiyama et al. JCS2015

Prognostic Value of Admission HbA1c in Patients with Acute Coronary Syndrome (Report from Mie ACS Registry). Shusuke Fukuoka et al. CVIT2015

Clinical, angiographical characteristics and prognosis in Japanese young adults with acute coronary syndrome. Jun Masuda et al. CVIT2015

In-hospital and mid-term outcome in resuscitated patients after out-of-hospital cardiac arrest complicating acute myocardial infarction (Analysis from MIE ACS Registry in Japan). Jun Masuda et al. ESC2015

In-hospital survival benefit with reduced Door-to-Balloon Time in patients with ST-elevation myocardial infarction undergoing primary percutaneous coronary intervention (Report from Mie CCU network). Konishi Katsuhisa et al. ESC2015

急性心筋梗塞患者における入院時収縮期血圧上昇が短期、中期予後に与える影響の検討. 熊谷直人 他. JSH2015

急性冠症候群患者におけるドクターヘリ搬送の重要性～三重 ACS レジストリより～ 石山将希 他. JCC2015

若年発症の急性冠症候群の臨床的特徴と予後. 増田 純 他. JCC2015

ST上昇型急性心筋梗塞患者でのDoor-to-Balloon時間の短縮は院内死亡率を低下させる(三重 ACS レジストリからの報告). 小西克尚 他. JCC2015

---

 [http://www.hosp.mie-u.ac.jp/section/bumon/ccu\\_network/](http://www.hosp.mie-u.ac.jp/section/bumon/ccu_network/)